

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	ベンチプロジェクト		
所管課	政策推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。健康福祉のまちを実現していくため
根拠法令	福岡市ベンチ購入費補助金交付要綱		高齢者をはじめとして誰もが気軽に外出したくなるまちづくりを進める観点から、バス停など身近なところへベンチ設置を促進していく。
行政計画			

基本計画				
施策コード	主	1-1-1		施策成果指標 なし
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり			
事業群	ユニバーサル都市・福岡の推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。健康福祉のまちを実現していくために、バス停など身近なところにベンチを設置することで高齢者をはじめとして誰もが気軽に外出したくなるまちになっている。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<p>バス停付近や、生活関連経路を中心に市有地や民有地にベンチを設置</p> <p>①バス停付近に隣接する市有地及び、地域から要望のあったバス路線沿いの歩道等にベンチを設置 【H29年度 15箇所設置】</p> <p>②H29.5から民有地へのベンチ購入補助開始し、(平成30年1月より西鉄が市と同様の補助開始)バス停付近などに隣接する地権者等にベンチ設置の働きかけを実施。 【H29年度 9箇所設置】</p> <p>③ふくおか応援寄付金のベンチプロジェクトへの寄付の受付・活用</p> <p>④損害賠償保険の加入</p> <p>⑤ベンチプロジェクトの広報 (プロジェクトの周知及び、ベンチ設置場所の案内等)</p>

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		18,512
歳入	特定財源	413
	一般財源	18,099
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計		30,502
歳入	特定財源	5,000
	一般財源	0 25,502

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<p style="text-align: center;">①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <p>・自治協議会などへ、ベンチプロジェクトの取り組みを紹介し、地域が設置を希望する箇所の要望を受け付ける。</p> <p>・バス停付近や、地域が設置を要望する箇所の民有地の地権者等へ、ベンチ購入補助を活用したベンチ設置の働きかけを行う。</p>	<p style="text-align: center;">②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>・地域などからもベンチ設置の要望が増加し、ベンチ設置箇所が増加。</p> <p>・ベンチ購入補助を活用した民有地ベンチが増加。</p>	<p style="text-align: center;">③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>必要な場所にベンチがあることで、気軽にベンチが利用でき、誰もが外出しやすくなる。その結果、歩く歩数が増え、生活習慣病の発生リスクの改善につながる。</p>	<p style="text-align: center;">④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>高齢者をはじめとして誰もが外出しやすいまちとなり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。</p>			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		市有地等へのベンチ設置	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	25	15	15	H32年度
			実績	25	15		85
達成率			100.0%	100.0%			
目標				H年度			
実績							
達成率							
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
	外出時に、バス停や歩道にベンチがないことで困っている人の割合	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
		目標	-	28.0%	次回調査 H31年度	H32年度	
		実績	29.0%	調査未実施		25.0%	
		達成率	-	-			
目標				H32年度			
実績							
達成率							

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	バリアフリーのまちづくり推進		
所管課	保健福祉局政策推進部政策推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成10年度		平成10年に「福祉のまちづくり条例」を施行し、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての人が安全かつ快適に利用できるよう、建築物や旅客施設などの整備基準を定めて都市施設のバリアフリー化を推進してきた。
根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		
行政計画	福岡市バリアフリー基本計画		

基本計画					
施策コード	主	1-1-1		施策成果指標	ユニバーサルデザインの取組みへの評価 (ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合) (H34年度目標値: 65%)
	再				
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり				
事業群	ユニバーサル都市・福岡の推進				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民。特に、高齢者や障がい者等、身体の機能上の制約を受ける方。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考えに基づき、建築物や旅客施設、道路、公園などの都市施設が、誰もが安全で快適に利用できるようになっている。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①福祉のまちづくり条例及び福岡市バリアフリー基本計画(ロードマップH29~32)に基づき、道路や旅客施設等のバリアフリー化の推進。【継続事業】
	②出前講座等の際、配布・啓発を行っている市民向け広報誌「心のバリアフリー」の改訂版を作成(H30.3)。
	③市民向け講座の充実、特に子ども向け(小4対象)のバリアフリー教室を開催
	④バリアフリーのまちづくりサポーター制度を試行するにあたり、施設所管課へ制度活用の働きかけを行った。
	⑤職員向けのバリアフリー研修を実施し、36名が参加した。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		1,695
歳入	特定財源	102
	一般財源	1,593
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28
	H30	
歳出合計	4,502	7,216
歳入	特定財源	88
	一般財源	4,414
		7,101

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・バリアフリー基本計画による事業の推進及び検証。 ・出前講座や子ども(小4)向けバリアフリー教室など、市民向け講座の充実 ・まちづくりサポーター制度活用促進。 ・職員向けのバリアフリー研修の実施。	・誰もが安全で利用しやすい施設づくりが進む。 ・多様な人々の存在をお互いに理解し、支え合う「心のバリアフリー」が浸透する。 ・施設の改修などにおいて、よりきめ細やかなバリアフリー化を進めることができる。 ・バリアフリー研修の受講者数が増す。	・安全で快適に移動や施設の利用ができる。 ・バリアフリー化の促進に関する市民の理解が増す。 ・バリアフリーへの理解が深まり、支え合う心が生まれる。	すべての市民が日常生活における自立や社会参加できるようになってくる。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	26.0	28.0	30.0	H32年度
実績		24.0	26.0	34.0		
達成率		92.3%	92.9%			
目標				H年度		
実績						
達成率						

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	障害者差別解消法関連事業		
所管課	保健福祉局障がい者部障がい者 在宅支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が、平成25年6月に公布され、平成28年4月から施行された。
開始年度	平成27年度		
根拠法令	障害者差別解消法		
行政計画			

基本計画				
施策コード	主	1-2-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進			
事業群	人権尊重のまちづくり			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	国民(市民)、民間事業者、市職員等
	対象をどのような状態にしたいのか	全ての国民(市民)が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進する。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ・差別の解消を目的とする条例の制定に向け、障がい当事者、有識者、市民関係者等で構成する条例検討会議を設置し、報告書を取りまとめたほか、福岡市保健福祉審議会(障がい者保健福祉専門分科会)を開催し、条例案の検討を行った。 ・条例案に関するパブリック・コメントを実施した。 ・障がいを理由とする差別について理解を深めるとともに、条例案に関する説明などを行うことを目的とするタウンミーティングを実施した。 ・差別に関する相談事例を踏まえた差別解消の取組等を効果的に行うため、障がい者差別解消支援地域協議会を定期的に開催した(年4回)。 ・障害者差別解消法に関する出前講座を実施した。
-----------------	---------------------------------------	---

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		3,868
歳入	特定財源	931
	一般財源	2,937
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	5,312	13,019
歳入	特定財源	2 3,726
	一般財源	5,310 9,293

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・条例の広報・啓発 ・相談窓口・附属機関の設置・運営 ・ガイドライン・施行規則等の策定 ・条例に基づく差別事案の調査・助言・指導・勧告等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、民間事業者、市職員等の障がいを理由とする差別に対する意識や合理的配慮の取組みが啓発される。 ・実効的な相談体制や紛争解決体制が構築される。 ・実際に起きた障がいを理由とする差別事案の解決に取り組む。 	<p>不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が徹底され、障がいを理由とする差別の解消が促進される。</p>	<p>障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会になる。</p>		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標			8	H年度
実績		6	7			
達成率					0.2以下	
年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	H31年度	
目標					0.2以下	
実績	0.23	調査未実施				
達成率						
年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	H年度	
目標						
実績						
達成率						

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	高齢者元気づくり応援事業		
所管課	地域包括ケア推進課(旧福祉・介護予防課)	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		市民が日頃から健康づくり・介護予防に取り組めるよう、住民主体の活動を支援する仕組みづくりが求められていた。
根拠法令	介護保険法第115条の45第1項第1号		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	1-3-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	ライフステージに応じた健康づくり		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 第1号被保険者のすべての者、及びその支援のための活動に関わる者。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 高齢者が容易に通える身近な所に健康づくり・介護予防に取り組める場が増えることで、自ら健康づくり・介護予防に取り組み、自立した生活を続けることができる。

実施内容(手段)	平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動支援補助金 住民主体で結成され健康づくり・介護予防に取り組むグループに必要な経費の一部を助成する。 ・よかトレ実践ステーション支援事業 健康づくり・介護予防に取り組む自主グループに対し、年に1~2回交流会を開催し、体操メニューの紹介や講話、意見交換を行うことで、取組み継続のモチベーションをアップを図る。 ・よかトレ実践サポーター養成事業 介護予防の取組みをサポートする人材を育成するとともに、サポーター自身の生きがいや介護予防につながることを目指す。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		8,290
歳入	特定財源	7,255
	一般財源	1,035
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H28	H30
歳出合計	1,241	7,532
歳入	特定財源	780
	一般財源	461

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 市政だより、ホームページ等で広報を実施。	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) 主体的に健康づくり・介護予防に取り組むグループが補助金を利用する。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) 自主グループの活動が継続され健康の維持増進につながる。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) 地域で介護予防が推進され、健康寿命の延伸につながる。																																							
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																									
	指標の内容	指標の内容																																									
	介護予防活動支援補助金の申請数(新規)	健康に生活している高齢者の割合																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">50</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">50.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">66.0%</td> <td style="text-align: center;">68.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	50	50	50	H 年度	実績	33	34	50.0	達成率	66.0%	68.0%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">次回調査 H31年度</td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: center;">50.6</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">50.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	-	-	次回調査 H31年度	H34年度	実績	50.6	-	50.0	達成率	-
年度	実績		目標																																								
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																							
目標	50	50	50	H 年度																																							
実績	33	34		50.0																																							
達成率	66.0%	68.0%																																									
年度	実績		目標																																								
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																							
目標	-	-	次回調査 H31年度	H34年度																																							
実績	50.6	-		50.0																																							
達成率	-	-																																									

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	健康づくりチャレンジ事業	
所管課	保健福祉局 健康医療部健康増進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 健康づくりは、市民一人ひとりの取組みが重要であるが、「福岡市民は健康づくりへの意欲は高いが、実際の行動に結びついていない」という調査結果から、市民の関心や意欲を的確にとらえ、健康づくりの実践に結び付けていくことが必要となった。
開始年度	平成23年度	
根拠法令	健康増進法	
行政計画	健康日本21福岡市計画	

基本計画			
施策コード	主	1-3-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	ライフステージに応じた健康づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (H34年度目標値:50%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市民
	対象をどのような状態にしたいのか	市民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組み、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていく。
事業目的		

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくおか健康マイレージ(健康づくりポイント事業) 市民の自主的な健康づくり活動を支援する事業の試行(3年目)。参加者は2,041名(事業終了時点)。新たな取組みとして、高ポイント獲得者へのインセンティブとして表彰を実施。29年度をもって試行を終了。 ●健康づくりフェスタふくおか 体験を通して自分にあった健康づくりを見つける場として、舞鶴公園を会場としたイベントを開催(11/18.19)。参加者は2日間で33千人。 ●健康づくり月間ほか 健康づくりの機運を高めるために、10月を健康づくり月間と題して集中的に広報を実施。その他、健康づくり・スポーツサイトの運営により、健康づくりの広報・啓発に取り組んだ。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		15,980
歳入	特定財源	3,500
	一般財源	12,480
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28
	H30	
歳出合計	15,600	15,605
歳入	特定財源	1,114
	一般財源	14,486
		13,051

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<p style="text-align: center;">①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康づくりに興味をもつ仕組み・場を検討(健康マイレージ、健康づくりフェスタふくおか) ・市や関係団体等主催の健康づくり事業の情報を収集、一元化して広報する。 	<p style="text-align: center;">②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康づくりに興味をもつ。 	<p style="text-align: center;">③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が自分に合った健康づくりに取り組む。 	<p style="text-align: center;">④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに取り組む市民が増え、医療費や介護費用の抑制になる。 ・健康寿命の延伸。 																																																																		
	活動の指標	健康づくりポイント事業への参加者数	健康づくり・スポーツサイトアクセス数	健康づくりに取り組んでいる人の割合	健康であると感じている人の割合																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康づくりポイント事業への参加者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">試行終了</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">1,977</td> <td style="text-align: right;">2,041</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: right;">65.9%</td> <td style="text-align: right;">68.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康づくり・スポーツサイトアクセス数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: right;">30,000</td> <td style="text-align: right;">35,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">40,000</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">24,060</td> <td style="text-align: right;">33,097</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: right;">80.2%</td> <td style="text-align: right;">94.6%</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	健康づくりポイント事業への参加者数	目標	3,000	3,000	試行終了	H年度	実績	1,977	2,041	達成率	65.9%	68.0%	健康づくり・スポーツサイトアクセス数	目標	30,000	35,000	40,000	H32年度	実績	24,060	33,097	達成率	80.2%	94.6%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康づくりに取り組んでいる人の割合</td> <td>目標</td> <td style="text-align: right;">60%</td> <td style="text-align: right;">65%</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">次回調査 H32年度</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">54.4%</td> <td style="text-align: right;">53.3%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: right;">91%</td> <td style="text-align: right;">82%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康であると感じている人の割合</td> <td>目標</td> <td style="text-align: right;">78%</td> <td style="text-align: right;">78%</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">次回調査 H32年度</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">77.5%</td> <td style="text-align: right;">74.5%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: right;">99.4%</td> <td style="text-align: right;">95.5%</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	健康づくりに取り組んでいる人の割合	目標	60%	65%	次回調査 H32年度	H32年度	実績	54.4%	53.3%	達成率	91%	82%	健康であると感じている人の割合	目標	78%	78%	次回調査 H32年度	H32年度	実績	77.5%	74.5%	達成率	99.4%	95.5%
指標の内容	年度			実績		目標																																																																
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																	
健康づくりポイント事業への参加者数	目標	3,000	3,000	試行終了	H年度																																																																	
	実績	1,977	2,041																																																																			
	達成率	65.9%	68.0%																																																																			
健康づくり・スポーツサイトアクセス数	目標	30,000	35,000	40,000	H32年度																																																																	
	実績	24,060	33,097																																																																			
	達成率	80.2%	94.6%																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																		
		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																	
健康づくりに取り組んでいる人の割合	目標	60%	65%	次回調査 H32年度	H32年度																																																																	
	実績	54.4%	53.3%																																																																			
	達成率	91%	82%																																																																			
健康であると感じている人の割合	目標	78%	78%	次回調査 H32年度	H32年度																																																																	
	実績	77.5%	74.5%																																																																			
	達成率	99.4%	95.5%																																																																			

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	特定健診事業, 特定保健指導事業		
所管課	保健福祉局健康医療部健康増進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成20年度		国の医療制度改革に伴い, 平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律		
行政計画			

基本計画				
施策コード	主	1-3-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし, 元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で, 生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	ライフステージに応じた健康づくり			健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (H34年度目標値: 50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者
	対象をどのような状態にしたいのか	生活習慣を改善し, 生活習慣病の発症や重症化をさせない。
事業目的		

実施内容(手段)	平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・特定健診を実施し, 特定保健指導の対象者を把握し, 保健指導を行った。
	・特定健診の受診率向上のため, DMIによる個別勧奨, 市政だより等による広報活動, 医師会との定例会等による連携を行った。
	・第3期事業計画を検討した。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計	658,138	
歳入	特定財源	276,955
	一般財源	381,183
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	594,157	704,959
歳入	特定財源	250,788 286,316
	一般財源	343,369 418,643

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	・特定健診 ・特定保健指導 ・特定健診受診率向上のための市民への働きかけ	・特定健診受診者の増加 ・特定保健指導が必要な人の把握数の増加	・生活習慣の改善がもたらされ, 生活習慣病を発症する人や重症化させる人の増加が抑制される	・高齢になっても, 元気で暮らせる人が多くなる ・要介護者の増加が抑制される ・介護費用や医療費の増嵩が抑制される	
	活動の指標	成果の指標(KPI)			
	指標の内容	指標の内容			
	年度	実績		目標	
特定健診受診率	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	H30年度	H30年度		H 年度	
	目標	37.0	40.0	H 年度	
	実績	23.0	集計中	検討中	
	達成率	62.2%	-		
	目標			H 年度	
	実績				
	達成率				
	年度	実績		目標	
特定保健指導実施率	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	H30年度	H30年度		H 年度	
	目標	39.0	40.0	H 年度	
	実績	27.4	集計中	検討中	
	達成率	70.3%	-		
	目標			H 年度	
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業		
所管課	地域包括ケア推進課(旧福祉・介護予防課)	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市民が日頃から健康づくり・介護予防に取り組めるよう、住民主体の活動を支援する仕組みづくりが求められていた。
開始年度	平成29年度		
根拠法令	介護保険法第115条の45第1項第1号		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	再	1-3-1
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	ライフステージに応じた健康づくり		

施策成果指標
 健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)
 (H34年度目標値: 50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 第1号被保険者のすべての者、及びその支援のための活動に関わる者。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 体力評価や運動等の新たな知識を得ることで、主体的に健康づくり・介護予防に取り組む団体が活動を継続することができる。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 健康づくり・介護予防に取り組む自主グループに対し、理学療法士や健康運動指導士等の専門職を年1~2回派遣し、体力評価やあらたな体操のメニュー等の紹介等を行った。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
	歳出合計	14,480
歳入	特定財源	12,672
	一般財源	1,808
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
	歳出合計	- 12,101
歳入	特定財源	- 7,772
	一般財源	- 4,329

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	理学療法士や健康運動指導士等の専門職を、健康づくり・介護予防に取り組むグループへ派遣する。	体力評価や運動等の知識の提供を行うことで、参加者に自身の身体状況を確認していただき、取組み継続のモチベーション維持につながる、また活動のマンネリ化を防ぎ、活動の継続につながる。	自主グループの活動が継続され、健康の維持増進につながる。	健康づくり・介護予防に取り組める場所が増え、地域で介護予防が推進され、健康寿命の延伸につながる。	
	活動の指標	実績	目標	実績	目標
	事業を利用した団体数	年度 H28年度 H29年度 H30年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度
		目標 150.0	目標 150.0	目標 50.6	目標 50.0

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域との協働による移動支援モデル事業		
所管課	保健福祉局高齢社会部高齢社会政策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		高齢者人口の増加に伴い単身での移動が困難となる高齢者も増加すると見込まれるため、高齢者の買い物や通院などの日常生活を支援する仕組みについても早急に検討する必要がある。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市保健福祉総合計画		

基本計画					
施策コード	主	1-3-2		施策成果指標	なし
	再				
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり				
事業群	生涯現役社会づくり				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	日常の買い物や通院等が困難な高齢者へ支援を希望する地域団体等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	住民主体の助け合い・支え合いの力を活かした移動支援・生活支援モデルの創出

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	平成28年度に募集した支援団体(1団体)への運行支援を継続し、他団体で実施する上での課題を検証した。買い物等支援マップを作成した。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
	歳出合計	17,805
歳入	特定財源	8,277
	一般財源	9,528
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
	歳出合計	5,000 11,745
歳入	特定財源	880 5,872
	一般財源	4,120 5,873

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	日常の買い物や通院等が困難な高齢者へ支援を希望する地域団体等へ車両を貸出し支援	住民主体の助け合い・支え合いの力を活かした移動支援・生活支援モデルの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の助け合い・支え合いの力を活かした移動支援・生活支援モデルの拡充 ・当事業を利用して移動する高齢者の増加 	本事業を通じて、地域との協働による移動支援を行うことで、「支える福祉」への仕組みづくりを行う	
	活動の指標	成果の指標(KPI)			
	指標の内容	指標の内容			
	モデル事業の実施	支える側として活動する団体数(H30年度新設)			
	年度	実績		目標	
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	目標	1	1	2	H32年度
	実績	1	1	2	7
	達成率	100.0%	100.0%	7	7
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	超高齢社会対応検討(一部・アラカンフェスタ)		
所管課	保健福祉局 高齢社会部 高齢福祉課(高齢社会政策課)	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成25年度		超高齢社会の到来に向けてアクティブエイジング(生涯現役社会づくり)を進める必要があったもの。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	1-3-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	生涯現役社会づくり			健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (H34年度目標値:50%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 60歳前後を中心とした幅広い世代の市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 趣味や余暇活動などによって、高齢者が健康で心豊かな生活を送るとともに、知識や経験を活かして、社会や地域の担い手・支え手として意欲的に活躍するようになる。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○退職等で生活スタイルの大きな転換が見込まれる60歳前後のアラカン世代を中心とした幅広い世代に、これからの過ごし方について考え、生きがいとしての就労や、趣味、地域・ボランティア活動などを行うきっかけにしてもらいイベント「アラカンフェスタ」を実施。 ○常設のホームページにより、イベントの情報発信を行った。 ○60歳前後を中心としたシニアが、自らイベントを企画して地域資源を活かした体験型の教室やビジネス開発などを行う「R60倶楽部」を実施。R60倶楽部の企画の1つとして、六本松蔦屋書店でシニア向けセミナー等を行う「オトナ塾」を毎週火曜日に実施。
-----------------	---

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		11,000
歳入	特定財源	5,500
	一般財源	5,500
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	13,500	11,000
歳入	特定財源	4,210 5,500
	一般財源	9,290 5,500

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○アラカンフェスタの開催 ○常設ホームページによるアラカン情報の配信 ○R60倶楽部の実施	○60歳前後を中心とする多くの市民がアラカンフェスタに参加する。 ○60歳前後を中心とする多くの市民が常設ホームページから情報を得るようになる。 ○R60倶楽部で60歳前後を中心とする多くの市民が、企画立案者となってイベントを行ったり、企画の参加者になったりする。	○アクティブエイジング(生涯現役社会づくり)の重要性を認識する人が増え、趣味や地域・ボランティア活動などの行動を実際に起こすアクティブシニアが増加する。	○社会や地域の担い手・支え手として活躍する高齢者が増える。 ○健康に生活している高齢者(の割合)が増える。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	5,000	5,000		H 年度
実績		4,614	4,676			
達成率		92.3%	93.5%			
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
	60歳以上市民の地域活動参加率(%)	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	53.0	53.0		H 年度
		実績	41.3	52.0	53.0	
		達成率	77.9%	98.1%		
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業	
所管課	保健福祉局政策推進部政策推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 行政が保有している様々な情報を有効に活用するため、保健、福祉、医療に関する情報を一元的に集約・管理するとともに分析、評価を行い、エビデンスに基づいた実行性のある施策を立案する必要があるため。
開始年度	平成26年度	
根拠法令	医療介護総合確保促進法	
行政計画	政策推進プラン	

基本計画			
施策コード	主	1-3-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	健康先進都市づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (H34年度目標値:50%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	行政が持つ保健・福祉・医療等のデータ
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	データを見える化し、地域課題、事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案実施を可能とするとともに、関係者間での情報共有を図る。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	保健、福祉、医療等の情報を一元的に集約、管理する「地域包括ケア情報プラットフォーム」の試験運用を進め、利用者ニーズを踏まえた機能拡充を行った。 ①データ分析システム「ケアビジョン」 分析結果の検証を進めるとともに介護サービスにおける質の分析機能を新たに開発。また、各区の校区担当保健師と利活用に向けた検討会を実施。 ②在宅連携支援システム「ケアノート」 市医師会の協力のもとH28年10月より進めてきた実証事業を、居宅介護支援事業所を中心に試験フィールドを全市に拡大のうえ実施。 ③情報提供システム「ケアインフォ」 市民および事業者へのPR活動を行うとともに、操作性の向上など利用者ニーズに基づくシステム改修を実施。

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
	歳出合計	59,553	
歳入	特定財源	11,651	
	一般財源	47,902	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
	歳出合計	50,993	63,169
歳入	特定財源	11,340	14,881
	一般財源	39,653	48,288

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	保健、福祉、医療等の情報を一元的に集約、管理する「地域包括ケア情報プラットフォーム」を構築し、データを見える化する。	見える化されたデータを活用して ・他地域との比較による地域課題の抽出 ・事業や施策の課題の抽出ができるようになる。	抽出された地域課題や事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案実施が可能となるとともに、関係者間での情報共有が図られる。	在宅の要介護高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができるため効果的、効率的に支援できる社会の実現			
	指標の内容	実績		目標			
	活動の指標	データ分析システムの結果を活用した事業の企画・立案数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	-	-	-	H37年度
		実績	-	-	-	20	
		達成率	-	-	-	-	
	各専門職による情報共有ツールへの参加者数(高齢者本人)	目標	100	500	5,000	H37年度	
		実績	40	1,700	5,000	60,000	
		達成率	40.0%	340.0%	-	-	
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
	健康に生活している高齢者の割合	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
		目標	-	-	-	H34年度	
		実績	50.6	-	-	次回調査 H31年度	
		達成率	-	-	-	50.0	
	最後まで自宅で暮らせる高齢者の割合	目標	11.7	11.7	-	H32年度	
		実績	10.3	未確定	11.7	-	
		達成率	88.0%	-	-	11.7	
		-	-	-	-	-	

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	健康先進都市推進経費		
所管課	保健福祉局健康先進都市推進担当	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		今後ますます進展する超高齢社会にあつて、保健医療福祉施策に求められる制度やサービスが量的・質的にも増大・多様化するため、新たな発想や手法を取り入れ、持続可能な仕組みを構築する必要がある。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	1-3-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	健康先進都市づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (H34年度目標値:50%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民、企業など
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民や企業、大学など幅広いプレイヤーが参画し、これまでの行政施策の範疇を超えて新たなサービスなどが導出されることで、市民一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける、長寿を心から喜べるまちになっている。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<p>①「福岡100」プロジェクトの発信 健康先進都市づくりのため、健康・医療・介護だけでなく、住まいや地域づくり、働き方なども含めた、広い意味でのまちづくりを、行政だけでなく市民、企業、大学など幅広いプレイヤーの参画を得ながら推進する「福岡100」プロジェクトとして、市内外へ発信した。</p> <p>②リーディング事業の実施 超高齢社会に対応する持続可能な保健医療福祉の新たな社会システムづくりを加速させるため、産学官民の共働・共創の場「福岡ヘルス・ラボ」を構築し、市民の健康増進につながる新たなサービスの創出を推進した。</p>

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		31,504
歳入	特定財源	13,923
	一般財源	17,581
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	49,192	27,347
歳入	特定財源	1 12,177
	一般財源	49,191 15,170

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○有識者会議で検討を行い、戦略を策定する。 ○市民や企業の効果的な巻き込みのため、渉外活動や情報発信を行う。	○戦略の推進に向けて、戦略に位置づけた先導的な取組を実施する。 ○市民や企業、大学などが戦略に関心を持つ。	○市民や企業、大学など幅広いプレイヤーが戦略の取組(福岡ヘルス・ラボ等)に参画する。	○行政施策の範疇を超えて新たなサービスなどが導出される。 ○市民一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける、長寿を心から喜べるまちとなる。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	策定	推進	推進	H31年度
実績		策定	推進	推進	評価	
	達成率				H年度	
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域包括ケアシステム推進事業, 地域ケア会議, 地域ネットワーク支援事業		
所管課	保健福祉局高齢社会部地域包括ケア推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		平成23年6月改正の介護保険法に地域包括ケアの理念が規定されたことを受け, 第5期介護保険事業計画(H24~26年度)に地域包括ケアシステムの構築を位置付け, 取組みを開始。
根拠法令	介護保険法第5条3項, 第115条48項		
行政計画	保健福祉総合計画, 第6期介護保険事業計画		

基本計画				
施策コード	主	1-6-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし, 元気に輝いている			
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実			
事業群	地域包括ケアの推進			福祉の充実に対する満足度 (H34年度目標値: 65%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・市民 ・保健福祉等の関係機関・団体, 事業所, 専門職(以下「関係機関等」)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・市民が住み慣れた地域で, 必要に応じて公的サービスを利用し, また, 地域で支え合いながら, 安心して暮らしている。 ・関係機関等が十分に連携して市民の自立生活に資する事業活動を行いつつ, 地域とともに支え合いなどの公益活動に取り組んでいる。

実施内容(手段)	平成29年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○市民・専門職を対象に, 下記を実施 ・地域ケア会議の周知啓発(個別啓発・地域に情報提供等) ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座開発等 ・各区で市民向けの啓発イベントを実施
	○関係機関等と連携し, 下記を実施 ・医療介護連携の重層的なネットワークづくり ・地域ケア会議5階層で高齢者支援, 課題把握, 取組検討 ・市地域ケア会議で関係機関等の進捗管理, 連携推進 ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座等の開発及び実施

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計	47,687	
歳入	特定財源	27,994
	一般財源	19,693
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	48,771	57,477
歳入	特定財源	21,009 29,072
	一般財源	27,762 28,405

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を市民に周知啓発 ・地域ケア会議を重層的に実施 ・地域ケア会議で関係機関等の取組共有 ・専門職と, 地域包括ケアの講座等を開発し, 市民や専門職へ講座実施 ・関係機関等との意見交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議開催で高齢者支援が増える ・地域ケア会議開催で課題を把握できる ・市民や関係機関等が, 予防・地域活動等の重要性に気づく ・講座開発や講師経験等を通して, 関係機関等と市民の間の連携が進む 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等で, 公助・共助の充実等への検討が進む ・関係機関等の地域での公益活動参加が増える ・地域主体の支え合いが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても安心して地域で暮らすことができ, 福祉の充実に対する満足度が向上する 																																																																				
	活動の指標	指標の内容	実績(H29年12月末)	目標	成果の指標(KPI)																																																																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績(H29年12月末)</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>地域ケア会議(5階層)の開催回数</td> <td>751</td> <td>800</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>676</td> <td>631</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90.0%</td> <td>78.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自立生活の啓発活動, 専門職の理念共有の講座の実施回数(モデル実施)</td> <td>14</td> <td>20</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>17</td> <td>24</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>121.4%</td> <td>120.0%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績(H29年12月末)		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	地域ケア会議(5階層)の開催回数	751	800	/	H29年度	実績	676	631	800	達成率	90.0%	78.9%		自立生活の啓発活動, 専門職の理念共有の講座の実施回数(モデル実施)	14	20	/	H29年度	実績	17	24	20	達成率	121.4%	120.0%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績(H29年12月末)</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>高齢者地域支援会議実施校区(累計)</td> <td>115</td> <td>149</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">133</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>113</td> <td>125</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.3%</td> <td>83.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括ケアアクションプラン参加団体数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>H29年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>93.8%</td> <td>106.3%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績(H29年12月末)		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	高齢者地域支援会議実施校区(累計)	115	149	133	H32年度	実績	113	125	149	達成率	98.3%	83.9%		地域包括ケアアクションプラン参加団体数	16	16	/	H29年度	実績	15	17	17	達成率	93.8%	106.3%
年度	実績(H29年12月末)			目標																																																																				
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																				
地域ケア会議(5階層)の開催回数	751	800	/	H29年度																																																																				
実績	676	631		800																																																																				
達成率	90.0%	78.9%																																																																						
自立生活の啓発活動, 専門職の理念共有の講座の実施回数(モデル実施)	14	20	/	H29年度																																																																				
実績	17	24		20																																																																				
達成率	121.4%	120.0%																																																																						
年度	実績(H29年12月末)		目標																																																																					
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																				
高齢者地域支援会議実施校区(累計)	115	149	133	H32年度																																																																				
実績	113	125		149																																																																				
達成率	98.3%	83.9%																																																																						
地域包括ケアアクションプラン参加団体数	16	16	/	H29年度																																																																				
実績	15	17		17																																																																				
達成率	93.8%	106.3%																																																																						

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分		重点
事業名	在宅医療・介護連携推進事業	
所管課	保健福祉局健康医療部 地域医療課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業が地域支援事業に位置付けられ、市町村が主体となり、医師会等と連携して取り組むこととされた。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	介護保険法、医療介護総合確保促進法	
行政計画	なし	
基本計画		
施策コード	主 1-6-1 再	施策成果指標 福祉の充実に対する満足度 (H34年度目標値:65%)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実	
事業群	地域包括ケアの推進	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	①市民 ②医療・介護従事者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	①医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる。 ②在宅療養患者に対し、在宅医療と介護を切れ目なく提供できる。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①検討会議の開催 市医師会と在宅医療について協議する場として在宅医療協議会と、そのワーキンググループである地域包括ケアシステム推進委員会を開催し、在宅医療推進のための取組について検討。 ②在宅医療推進のための取組方針の策定 市医師会、各区医師会が在宅医療を推進する中心的な役割を果たす病院として各区にブロック支援病院をいくつか選定し、医療連携のための取組を開始している。まずは、下記3つのことに取り組むこととしている。 ・在宅医療に携わる医師を増やすための医師間の関係づくりと動機づけ ・在宅医療を支える病院のバックアップ体制 ・代診医制度 ③看取りに関する実態調査 福岡市における看取りの実態を把握するとともに、在宅医療の推進に向けた課題や必要な施策を検討することを目的として、厚生労働省の人口動態調査死亡票、死亡小票のデータ分析を行った。 ④在宅医療と介護の連携体制づくり ・社会資源情報ブックの情報更新。 ・多職種連携研修会(市医師会に委託して区ごとに実施) ・「在宅連携支援システム」(ケアノート)の実証実験を実施。(政策推進課) ⑤在宅医療に関する市民啓発 ・市民公開講座(市医師会に委託して区ごとに実施) ・在宅医療に関するパンフレットの作成 ・在宅医療に関する市政だより特集版の作成

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		36,507
歳入	特定財源	29,386
	一般財源	7,121
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H28	H30
歳出合計		
	31,474	46,272
歳入	特定財源	30,523
	一般財源	951
	37,364	8,908

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	在宅療養患者に在宅医療と介護を切れ目なく提供するための施策を検討し実施する。	(市民) ・啓発事業に参加する。 ・パンフレットを読む。 (医療・介護従事者) ・病院を中心とした交流会・情報交換会等に参加する。 ・社会資源情報ブックやケアノート、相談窓口を活用する。 ・研修会に参加する。	(市民) ・在宅医療への理解が深まり、在宅医療を受ける人が増える。 (医療・介護従事者) ・在宅医療に携わる医師が増える。 ・医療・介護従事者の連携が進む。	(市民) ・医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができる。 (医療・介護従事者) ・在宅療養患者に対し、適切な在宅医療と介護を切れ目なく提供することができる。		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	8	8	8	H32年度
実績		9	9	8	8	
達成率		112.5%	112.5%			
指標	目標	20	20	21	H32年度	
	実績	23	23	21	28	
	達成率	115.0%	115.0%			
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	目標			検討中	H年度	
	実績	243	212	検討中	検討中	
	達成率					
目標	11.7	11.7	11.7	H32年度		
実績	10.3	未確定	11.7	11.7		
達成率	88.0%	-				

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	障がい者の地域生活支援機能強化事業		
所管課	障がい者在宅支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	H29年度		障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」の地域生活も見据えた総合的な支援体制構築のため、障がい者の地域生活支援機能の強化を図ることを目的に開始。
根拠法令	障がい者総合支援法		
行政計画	福岡市保健福祉総合計画		

基本計画					
施策コード	主	1-6-2		施策成果指標	福祉の充実に対する満足度 (H34年度目標値: 65%)
	再				障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じている市民の割合 (H34年度目標値: 65%)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実				
事業群	障がい者の自立と社会参加の支援				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	障がい者及びその家族
	対象をどのような状態にしたいのか	障がい者の重度化・高齢化、「親なき後」を見据えた総合的な支援体制が構築されることにより、親元からの自立や、施設等からの地域生活への移行が促される等、障がい者が安心して地域での生活を継続することができる状態。
事業目的		

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	24時間対応の相談体制や緊急時の受け入れ拠点の確保など「地域生活支援拠点等」を整備。 【実施内容】 ・地域生活支援拠点等の整備に伴う緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場の確保 ・高度な支援スキルを有する人材の育成 ・訪問型在宅レスパイト事業

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
	歳出合計	72,625
歳入	特定財源	50,346
	一般財源	22,279
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
	歳出合計	— 111,820
歳入	特定財源	— 78,813
	一般財源	— 33,007

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	・地域生活支援拠点等の整備に伴う緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場の確保 ・高度な支援スキルを有する人材の育成 ・コミュニケーション支援員等派遣事業 ・訪問型在宅レスパイト事業	・緊急時受け入れ拠点や、体験の機会・場、訪問型在宅レスパイト事業等について周知され、障がい者が必要な時に利用できる体制が整備される。	障がい者の重度化・高齢化、「親なき後」を見据えた総合的な支援体制が構築されることにより、親元からの自立や、施設等からの地域生活への移行が促される等、障がい者が安心して地域での生活を継続することができる状態。	障がい者の高齢化や「親なき後」の地域での生活も見据えた総合的な支援など、障がい者が必要な支援を受けながら、地域や家庭でいきいきと生活できる。
	活動の指標	指標の内容	指標の内容	指標の内容
		年度	年度	年度
		H28年度	H28年度	H28年度
	H29年度	H29年度	H29年度	
	H30年度	H30年度	H30年度	
	最終年度	最終年度	最終年度	
	H32年度	H32年度	H32年度	
	7	7	7	
	66.7%	0.0%	7	
	H年度	H年度	H年度	
	H年度	H年度	H年度	
	達成率	達成率	達成率	

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分 重点

事業名	障がい者グループホーム設置促進等事業	
所管課	保健福祉局 障がい者施設支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 施設に入所または病院に入院している障がい者の地域生活への移行を促進させるため。
開始年度	平成15年度	
根拠法令	福岡市障がい者グループホーム設置費補助金交付要綱等	
行政計画		

基本計画					
施策コード	主	1-6-2		施策成果指標	なし
	再				
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実				
事業群	障がい者の自立と社会参加の支援				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	障がい者グループホームの開設を希望する社会福祉法人等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	障がい者グループホームの開設に必要な情報が常時入手可能であり、希望する不動産物件がすみやかに見つかるとともに、必要に応じて、建築基準法上の用途変更について要件緩和の恩恵を受ける、補助申請により開設経費の負担が軽減される等、希望すればスムーズに障がい者グループホームが開設できる状態

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」の運用 ・同サイトを市HP上に新たに設置し、不動産物件の紹介や物件オーナーへの説明等に協力可能な宅地建物取引業者を「不動産協力店」として登録し、開設希望法人が求める物件情報等とのマッチングを支援するなど、開設に役立つ法人向け情報を提供 ○GH設置及び強度行動障がい者等支援にかかる補助金(市単費)の交付 ○社会福祉施設等整備費補助(国1/2, 県1/4, 市1/4)の施設選定及び補助金の交付 ○市営住宅を活用したグループホームの開設支援 ・住宅都市局と連携し、市営住宅を活用したグループホームの開設を支援 ○市営住宅建替えに伴う市有剰地の活用など、重度障がい者向けGHの設置促進に向けた検討

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		27,090
歳入	特定財源	4,808
	一般財源	22,282
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	47,284	61,186
歳入	特定財源	23,123 27,157
	一般財源	24,161 34,029

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」において開設に必要な情報を提供する。 ・福岡県宅地建物取引業協会等に「不動産協力店」登録制度について協議(協力依頼)を行う。 ・「不動産協力店」と開設希望法人とのマッチングを支援する。 ・補助制度を周知する。 ・市住及び市営住宅建替えに伴う市有剰地活用について住宅都市局と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設希望法人により、「グループホーム開設応援サイト」から開設に必要な情報が入手される。 ・申請された宅地建物取引業者が「不動産協力店」として登録され、開設希望法人が求める不動産物件の情報とともに上記サイト上に公開される。 ・補助金の交付申請が行われる。 ・市営住宅や市有剰地にグループホームが開設される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「開設応援サイト」の利用により、開設に必要な情報がいつでも入手可能となり、また、希望する不動産物件が見つかりやすくなる。 ・開設に必要な経費の負担が軽減される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における障がい者グループホームの開設が進み、設置数(定員数)及び利用者数が増加する。 ・施設に入所または病院に入院している障がい者の地域生活への移行が促進される。 		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	市営住宅を活用したグループホームの利用定員(単位:人)	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
		目標	36	40	44	H年度
実績		36	36	H年度		
達成率		100.0%	90.0%	H年度	達成率	
共同生活援助(グループホーム)の利用量(単位:人/月)	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
共同生活援助(グループホーム)の利用量(単位:人/月)	目標	940	1,040	1,000	H年度	
	実績	800	未確定		H年度	
	達成率	85.1%	-	H年度	達成率	
	H年度	H年度	H年度	H年度	H年度	